

令和3年度7回福岡市開発審査会 会議録

開催日	令和3年12月3日（金） 午後3時00分から 午後4時30分まで		場所	福岡市役所 北別館 4階 土地開発公社室
出席者	委員	萩島会長，林副会長，鳥飼委員，藤野委員，志賀委員		
	福岡市	住宅都市局 建築指導部 柴田部長 開発・建築調整課 岳本課長、中野係長、野元係長、瀬古係長、木下、栗原 総務企画局 企画調整部 児玉係長、福島 経済観光文化局 地域観光推進課 川島係長		

凡例：以下において、○は委員、△は福岡市職員（住宅都市局）、■は福岡市職員（総務企画局）の発言を示す。

第6号議案

〈地域コミュニティの維持等が課題となっている農山漁村地域で、地域産業の振興の観点から必要であり、地域住民等による合意形成がなされていると認められる建築物〉

- 周辺の飲食店と連携・協力とあるがいくつかあるのか。
- △周辺に建物は多く、糸島食堂やプカプカキッチン等のレストランがある。少し北側には、ざうおなどがありそれらと協力すると聞いている。
- 店舗との連携というのは確認が取れているのか。
- 地域産業振興施設立地の地域の合意が必要となってくる。その過程で申請者の内容が事実かどうか確認しており、周辺店舗との連携を進めていくと聞いている。
- 今回の事例は何例目になるのか。
- 宿泊施設としては4例目である。同じ場所で1例目が申請されていたが、事業の見直し等により実施に至らなかったもので、その分を含めると5例目である。
- ほかに地域産業施設というところのどのようなものがあるか。
- 地域の農林水産業や観光など、地域産業の振興に寄与する施設として、宿泊施設や飲食店、観光案内所などを想定している。観光客の休憩所立地について、ツアーを企画する業者から相談を受けたりもしている。
- 今津地区のニーズは高いのか。オフシーズンなどはどうなのか。
- 海に面しているため、やはり夏場の観光客が一番多い。しかし、海水浴に限らず、海辺の美しい景観や元寇防塁などの文化・歴史資源もあるため、そうした地域資源を活かした地域経済の活性化につなげていこうとしている。
- 地元の同意が不可欠だとあるが、歓迎されているという認識でよろしいか。
- そのとおりである。本事案については地域の代表者への説明や住民説明会をして、最終的には地域と事業者で覚書を締結している。
- 申請地の隣にはなにがあるのか。
- △4階建てのマンションが昔から建っている。
- 周辺の市街化を促進する恐れはないのか。
- 周辺の市街化を促進する恐れがないかも含めて立地調整会議で確認するが、周辺に自然公園や保安林、農地などがあり土地の利用が容易ではないこと、そして、施設の立地に際して同意が必要となる地域の方々も自然を守っていききたいと考えており、簡単には開発できないと考えている。

○景観面の配慮等はあるのか。

■白いビーチや周辺の緑を考慮して色味については調和するよう気をつけている。環境についても、地域の人々とともに海浜清掃を実施すると聞いている。

○景色が一変しそうである。

△となりの建物と高さは変わらないので、そこまで違和感があるわけではないと考えている。

(採決)

○ 承認する。

第7号議案

〈市街化調整区域内の社会福祉施設の増築〉

特になし

(採決)

○ 承認する。

第8号議案

〈収用移転〉

特になし

(採決)

○ 承認する。